

2023年12月26日

SUBARU 環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結 ～「一つのいのちプロジェクト」を通じた国立公園の活性化、魅力発信への貢献～

SUBARU は、12月21日に環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結し、伊藤信太郎環境大臣同席のもと締結式に出席しました。

一つの
いのち
プロジェクト



伊藤信太郎環境大臣(左)、加藤章浩執行役員国内営業本部長(右)

「国立公園オフィシャルパートナーシップ」は、環境省と企業や団体が相互に協力し、日本が世界に誇る国立公園の美しい景観と、国立公園に滞在する魅力を世界に向けて発信し、国内外からの国立公園利用者の拡大を図ることで、人々の自然環境の保全への理解を深めるとともに、国立公園の所在する地域の活性化につなげるためのパートナーシッププログラムです。第12回を迎えた締結式には、新パートナー8企業・団体が出席し、今回をもって、全137社・者の企業、団体がオフィシャルパートナーとなっています。

SUBARU は、航空機メーカーのDNAを持ち「人を中心としたモノづくり」のなかで安全を最優先に考え、「いのちを守る」ことを大切にしてきました。その想いを軸に、お客様・販売店・SUBARU、そして地域社会と共に行う活動として、「一つのいのちプロジェクト」に取り組んでいます。かけがえのない「ひとのいのち」、大切にしたい豊かな森の植物や生き物といった「自然のいのち」、この2つのプロジェクトテーマを掲げ、我々と同様の想いを持ち「笑顔の溢れる未来に向けて守り・繋いでいく」ために日々活動している方々を応援しています。

今回のパートナーシップは、この「一つのいのちプロジェクト」の中の「自然のいのち」を守る取り組みの一環として、提携団体への支援や共に行う活動を国立公園の活性化や魅力発信にもつなげるため、国立公園を管理する環境省と相互に協力しあうことを目的に締結されました。

「自然のいのち」を守る活動では、既に国立公園を管理する団体との提携を進めており、知床国立公園を中心に活動する公益財団法人 知床財団(所在地:北海道斜里郡斜里町、代表:村田良介理事長)や全国15の国立公園の公園管理を行う一般財団法人 自然公園財団(所在地:東京都千代田区、代表:熊谷洋一理事長)の取り組みを支援するため、日々の活動を安心して行える専用車両を提供しています。また、2024年には、日光国立公園那須平成の森において、お客様と自然を楽しむイベントの開催も計画しています。

SUBARU グループは「笑顔を作る会社」を目指して、CSR 重点6領域(「人を中心とした自動車文化」「共感・共生」「安心」「ダイバーシティ」「環境」「コンプライアンス」)を定め、SUBARU グローバルサステナビリティ方針のもと、グループ・グローバルで意思を共有しながらサステナビリティを推進しています。今後も SUBARU は真のグローバル企業として持続的な成長を目指すと共に、愉しく持続可能な社会の実現に貢献していきます。

詳細については、SUBARU オフィシャル Web サイトをご確認ください。

<SUBARU オフィシャル Web サイト「一つのいのちプロジェクト」>

<https://www.subaru.jp/project/hitotsunoinochi/>

<SUBARU グループのサステナビリティ>

<https://www.subaru.co.jp/csr/>

【ご参考】

環境省 国立公園オフィシャルパートナーによる魅力発信

<https://www.env.go.jp/nature/nationalparks/pick-up/official-partner/>

環境省 国立公園満喫プロジェクト

<https://www.env.go.jp/nature/mankitsu-project/>

公益財団法人 知床財団

<https://www.shiretoko.or.jp/>

一般財団法人 自然公園財団

<https://www.npfj.or.jp/>